

令和7年度第1回人材育成のための意見交換会

次 第

(日 時) 令和7年7月16日(水) 15:30 ～ 17:00

(場 所) 広島市役所北庁舎(中区役所) 6階 教育委員室

1 議題

- (1) 令和7年度人材育成のための意見交換会について
- (2) 園内研修の充実に向けた取組について

2 事務連絡

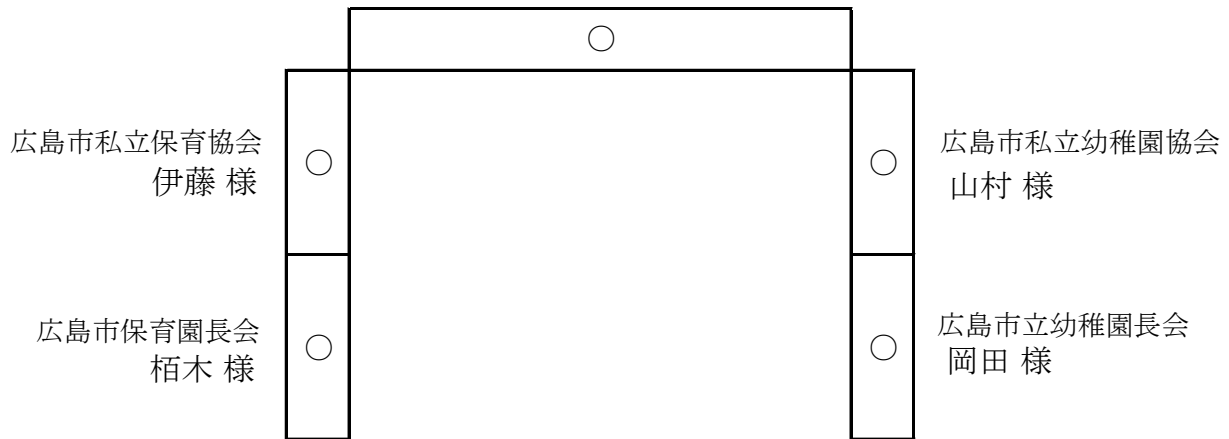
令和7年度第1回人材育成のための意見交換会配席図

日時：令和7年7月16日（水）

15：30～17：00

場所：広島市役所北庁舎（中区役所）
6階 教育委員室

座 長
広島都市学園大学
深澤 様



○	○	○	○	○	○
幼保企画課 高橋主幹	幼保企画課 三宅主幹	幼保企画課 岩永主査	幼保企画課 森本主事	指導第一課 大下課長補佐	教育企画課 内田課長補佐

○	○	○
幼保企画課 田原保育専門員	教育センター 吉川主任指導主事	指導第一課 原田指導主事

傍 聴 席

令和 7 年度
「人材育成のための意見交換会」名簿

1 学識経験者・関係団体代表者

氏 名	所 属 ・ 職 名
深澤 悦子	広島都市学園大学子ども教育学部子ども教育学科教授
山村 圭司	広島市私立幼稚園協会 理事・教育研究委員長（善徳寺幼稚園理事長）
伊藤 唯道	広島市私立保育協会 副理事長（順正寺こども園長）
岡田 幸子	広島市立幼稚園長会 副会長（矢野幼稚園長）
栢木 章子	広島市保育園長会 代表（鈴峰園保育園長）

2 事務局

氏 名	所 属 ・ 職 名
岩永 拓郎	こども未来局 幼保企画課 主査
三宅 瑞穂	こども未来局 幼保企画課 主幹
高橋 由加里	こども未来局 幼保企画課 主幹
森本 伸章	こども未来局 幼保企画課 主事
田原 しほり	こども未来局 幼保企画課 保育専門員
内田 友和	教育委員会事務局 総務部 教育企画課 課長補佐
大下 あすか	教育委員会事務局 学校教育部 指導第一課 課長補佐
原田 めぐみ	教育委員会事務局 学校教育部 指導第一課 指導主事
吉川 洋介	教育委員会教育センター 主任指導主事

令和7年度人材育成のための意見交換会について

1 人材育成のための意見交換会の開催

本意見交換会では、全ての子どもにとって質の高い幼児教育・保育の提供を可能とするため、これまでに、「幼稚園教諭・保育士等の人材育成の基本的な考え方」、「各キャリアステージにおいて幼稚園教諭・保育士等に必要となる力」、「広島市幼稚園教諭・保育士等の相互参加可能な研修」等を作成し、本市内の幼稚園教諭・保育士等の人材育成を図っている。令和6年度からは、園内研修の充実に向けて園内研修の参考となる資料の検討を進めてきた。

令和7年度は、令和6年度までに検討した内容を踏まえ、各園等が自園の実情に応じて取り組む園内研修の参考となる資料の作成について検討する。

2 開催予定

(1) 開催時期

第1回：7月16日（水）

第2回：9月～12月

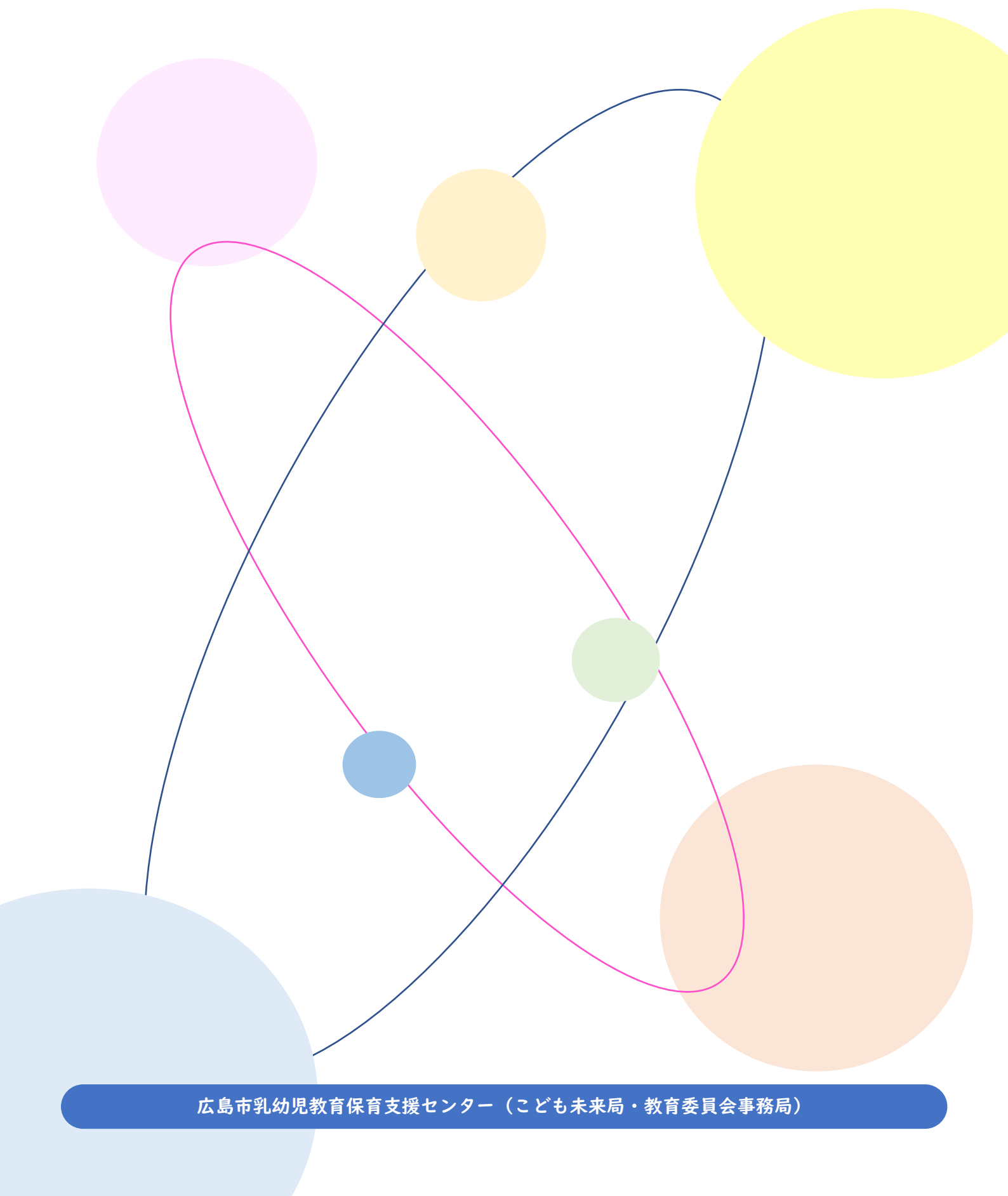
第3回：1月～3月

(2) 各回の議題

区分	議題
第1回	・ 令和7年度人材育成のための意見交換会について ・ こどもを中心として語り合う園内研修について（内容検討）
第2回	・ こどもを中心として語り合う園内研修について（内容検討）
第3回	・ こどもを中心として語り合う園内研修について（確定）

「こどもを中心として語り合う園内研修」

語り合うことから始めてみませんか？こどもとおとながみんな楽しくなる園内研修



目 次

1 はじめに

2 語り合いを中心とした園内研修の重要性

3 冊子活用の手順

4 自園の現状確認及び園内研修の実践に向けて

- (1) 園内研修の三つの視点（カラーゾーン）
- (2) 三つの視点を確認するためのチェックリスト
- (3) 実践事例

5 参考

Ⅰ はじめに

この、「こどもを中心として語り合う園内研修」は、本市内の保育園・幼稚園・認定こども園等をはじめとする幼児教育・保育施設において、保育者の皆様がこどもを真ん中にして楽しく語り合うことにより、風通しの良い園内の風土づくりや園内研修のより一層の充実に向けて参考としていただけるよう、広島市乳幼児教育保育支援センターが開催する人材育成のための意見交換会において、広島都市学園大学教授 深澤 悦子 様に座長をお務めいただき、広島市私立保育協会・広島市私立幼稚園協会・広島市保育園長会・広島市立幼稚園長会から御推薦いただいた委員の皆様よりご意見をいただき作成した冊子です。

この冊子の中では、幼児教育・保育の現場において、こどもとおとなのみんなが楽しくなる保育を目指し、こどもを中心として語り合うことの重要性や、その語り合いをベースとして実施する園内研修についてご紹介します。

こうした、こどもを中心とした語り合いによる園内研修が、各幼児教育・保育現場でさらに充実していくことにより、各園等が自園の実情に応じて、できることから無理なく、そして主体的に取り組む継続されることを願っております。

この冊子が皆様の園等において、風通しの良い園内風土の醸成や、更なる園内研修の充実に向けた参考となれば幸いです。

令和7年 月 日

広島市乳幼児教育保育支援センター

(広島市こども未来局・広島市教育委員会事務局)



2 語り合いを中心とした園内研修の重要性

語り合いはなぜ重要なのか？

本市では、人材育成のための意見交換会において、委員の皆様から聴取したご意見を参考にし、幼児教育・保育の現場における語り合いの重要性について、以下に3つの視点を整理しました。

(1) 保育の振り返り

保育の改善に向けては、保育の評価や振り返りが必要になります。例えば、保育日誌も振り返りです。このような振り返りを充実していくためには、一人の保育者だけではなく、保育に関わる保育者同士による語り合いが重要になります。振り返りが、保育者個人からクラスへ、そして園内へと広がり、更には、園外へと広がっていくことで、語り合いの視点が広がり、多様な視点から保育の評価や振り返りを行うことができるようになって考えています。

(2) こども理解

幼児教育・保育を行うに当たって重要なこども理解については、一人の保育者がこどもの姿を見て、そのこどもの全てを理解できるものではありません。しかし、保育の経験年数や立場によらず、複数の保育者がこどもの姿を互いに語り合うことにより、保育者は相互に多様な視点から気づきを得ることができます。そうすることで、よりこども理解を深めたり広げたりしていくことができるようになって考えています。

(3) 職場の風土づくり

こどもの姿や保育内容が多様な幼児教育・保育の現場において、こども理解や保育の振り返りを多角的な視点で行うためには、一人一人の保育者が安心して気づきや考えを声に出せるよう、園長や主任などによる受容的で支持的な関わりが重要になります。また、園内の保育者同士が立場によらず、こども理解や保育内容について、その気づきや考えを適切に伝えたり受け止めたりし合えることで、風通しの良い職場風土を醸成していくことができるようになって考えています。

以上のことから、保育の振り返り、こども理解、園内風土づくりの3つの視点から、語り合いが重要であると考えています。

3 冊子の活用手順

① カラーゾーンを確認する。

自園の園内研修を始めるに当たり、カラーゾーンについて確認する。(P5～P11)

② カラーゾーンを選択し、自園の現状を確認する。

自園が園内研修で取り組んでみたいカラーゾーンを選び、選んだカラーゾーンについて、自園の現状をチェックリストで確認する。(P12～P14)

③ 実践事例を参考にする。

規模や課題などが自園の実情に近いものを参考にし、自園で取り組める園内研修を計画する。(P15)

④ 園内研修をする。

①～③までを踏まえ、「こどもを中心とした語り合い」をベースにして園内研修を実施する。

※ 語り合いが重要ですので、形式に捉われすぎないように気を付けましょう。

⑤ 園内研修を振り返り、PDCA サイクルを実施する。

園内研修を実施した後は、語り合ったこと、考えたこと、気づいたこと、学び得たことなどを生かして、次の保育の計画、実践、反省・評価することを繰り返す。

このように、保育実践と振り返りを繰り返すことにより、園内におけるこども理解、保育の振り返り、園内風土をより一層充実させ、自園の保育の質の向上や人材育成へつなげる。

4 自園の現状確認及び園内研修の実践に向けて

自園の現状を確認して実践事例を参考にしましょう！

以下の(1)～(2)では、園内研修の視点、自園の現状を確認するチェックリストを示しています。更に(3)では実践事例を示していますので、確認・参考としていただきながら、自園において園内研修を計画・実施してください。

(1) 園内研修の三つの視点（カラーゾーン）

この冊子では、こどもの姿を中心に語り合う園内研修が各園等の実情に応じて実施される目安となるよう、以下のとおり園内研修の三つの視点を設けました。また、それらの視点は、相互に影響し合い、園内研修が充実していきます。この三つの視点をブルー・グリーン・オレンジの3色で色分けし、次ページ以降で説明しています。



各カラーゾーンの詳細は以下のページで確認することができます。

ブルーゾーン・・・P6

グリーンゾーン・・・P8

オレンジゾーン・・・P10

① ブルーゾーン（園内風土づくり）

このような園におすすめします。

- ・ 職員同士が楽しく気軽に話せるようになりたい。
- ・ 職員同士が安心して自分の考えを出せるようになりたい。
- ・ 職場内の良好な人間関係を構築し、風通しのよい職場にしたい。
- ・ 園内研修をしたことがない。
- ・ 語り合いの始め方がわからない。 など

「まず、こどものことを語ってみよう！」というカラーゾーン！

- ・ 保育内容や園内業務ではなく、こどもの姿を語り合しましょう。
- ・ 職員がそれぞれの立場に関わらず、こどもの姿をみて、気づいたことや、感じたことを語り合しましょう。
- ・ 職員が共にこども理解を深めましょう。
（“雑談”や“議論”ではなく、“対話”するイメージ）



ブルーゾーンのいいところ。

こどもの姿を語り合うことを積み重ねていくうちに、職員間で多様な見方や考え方があることを認識し合えるので、語り合いが楽しくなり、様々な考えを出し合うことにつながります。そうすることで、「このような園におすすめします！」にあるような悩みが徐々に解消されていくと考えられます。



事例

ブルーゾーンで取り組みやすい事例には、以下のようなものがありますので、参考にしてください。

また、P15の園内研修情報も参考にしてみてください。

事例1：「保育中のこどもの様子を写した写真を用いて語り合いました！」

まず、保育中のこどもの遊びや生活の様子の写真を1枚準備する。

次に、写真に写るこどもの気持ちや背景等を保育者が想像し、職員同士で想像したことを語り合う。



事例2：「保育雑誌を活用して語り合いました！」

まず、こどもについて掲載した保育雑誌の内容を1つ準備する。

次に、職員がそれぞれに掲載内容を読んで、気づきや感想を語り合う。



事例3：「文部科学省の動画などを視聴して語り合いました！」

まず、文部科学省の動画（こどもの様子が分かる幼保小接続期や幼児教育の指導参考資料等）を1つ準備する。

次に、動画を視聴した職員同士で、気づきや感想を語り合う。



💡 語り合いのポイント 💡

- ・ 正解探しや何かを決めようとせず、相互理解の姿勢を大切にする。
- ・ こどもを真ん中にして、こどもにとってどうなのかという視点で立場によらず一緒に考え語り合う。



②グリーンゾーン（園内で保育を振り返る）

このような園におすすめします！

- ・ 自園の保育の不安を解消したい。
- ・ 保育実践力を向上させていきたい。
- ・ 他の職員と保育を振り返りたい。
- ・ 自園の保育の質を向上させたい。
- ・ 幼稚園教育要領・保育所保育指針・認定こども園教育・保育要領に沿って自園の保育を振り返りたい。 など

「園内の職員が共に保育を振り返ろう。」というカラーゾーンです！

- ・ 自分のクラス、同年齢のクラス、3歳以上又は未満のクラス、園全体といったように、一緒に保育を振り返る職員の規模を園内で広げてみましょう。
- ・ こどもの姿を語ることをベースとして、園内の職員が気づきや感想を語り合い、それを踏まえて保育を振り返り評価していきましょう。
- ・ 園内で振り返ったことを踏まえ、次の保育を生み出すことに繋げていきましょう。

グリーンゾーンのいいところ。

こどもの姿を中心に語り合い、園内の職員の気づきや感想を踏まえて、ポジティブに保育の評価をすることにより、多面的にこどもの姿を捉え、より深い子ども理解に基づいた保育を実践することが期待できます。そうすることにより、「このような園におすすめします！」にあるような悩みが徐々に解消されていくものと考えられます。



事例

グリーンゾーンで取り組みやすい事例には、以下のようなものがありますので、参考にしてください。

また、P15の園内研修情報も参考にしてみてください。

事例1：「子どもの様子の分かる写真を保育者が持ち寄って語り合いました！」

まず、各クラスの保育者が、自分のクラスの保育中のこどもの遊びや生活の様子がわかる写真をそれぞれ持ち寄る。

次に、グループに分かれて、写真を撮った職員が撮影時の様子を伝え、グループ内でこどもの気持ちや背景等を話し合う。



事例2：「園内で公開保育をして語り合いました！」

まず、園内でそれぞれのクラスが他の職員に保育を公開する。その際、参観する職員は保育中のこどもの様子を写真に撮る。

後日、写真を撮った職員が撮影時の様子を伝え、気づきや感想を語り合う。



💡 語り合いのポイント 💡

- ・ 語り合いをする際には、思考や視点が整理しやすくなるよう、必要に応じてウェブマップや付箋等を活用する。
- ・ こども理解をより広げたり深めたりすることに繋がるよう、職員の人数が多い園では、グループに分かれて語り合い、各グループで語り合ったことを最後に共有する。



③ オレンジゾーン（外部を交え保育を振り返る）

このような園におすすめします！

- ・ こども理解や遊び、環境構成の視点を広げたい。
- ・ 近隣の園や小学校の保育者や教諭、地域の方などと一緒に、自園の保育を通して語り合いたい。
- ・ 幼保小接続に向けて小学校との連携を充実させたい。 など

「広い視野を持って自園の保育を向上させよう！」というカラーゾーンです！

- ・ 自園の保育者だけではなく、近隣園の保育者や小学校教諭、地域の方と顔を合わせ、こどもの姿を中心に気づきや感想を語り合い、外部の意見を踏まえて自園の保育を振り返り評価していきましょう。
- ・ 外部の意見を踏まえて振り返ったことをいかし、次の保育を生み出すことに繋げていきましょう。

オレンジゾーンのいいところ。

こどもの姿を中心に語り合い、園内外の職員の気づきや感想を踏まえて、ポジティブに保育の評価をすることにより、多面的にこどもの姿を捉え、より深い子ども理解に基づいた保育を実践することが期待できます。また、近隣園や小学校、地域との連携が促進されることも期待できるため、「このような園におすすめします！」にあるような悩みが徐々に解消されていくものと考えられます。



事例

オレンジゾーンの事例には、以下のようなものがありますので、参考にしてください。

また、P15ページの園内研修情報も参考にしてみてください。

事例1：「公開保育を実施し、保育者、小学校教諭等と語り合いました！」

まず、「どうすればこどもにとってよりよい保育ができるか」と言ったことや、自園の保育の方針や特色などについて、園内の職員が日頃から語り合う。

次に、こども理解の視点がより広がり、深まるよう、事前に参観の際に参加者に見てほしい視点を示し、自園の保育を近隣園の保育者、小学校教諭に公開し、保育中のこどもの姿を中心に語り合う。



事例2：「外部講師を招いて、ビデオカンファレンスをして語り合いました！」

まずは、自園の保育についての課題等を捉え、その課題解決のために、適切な助言を受けられる学識経験者や専門家などを決めて研修講師として依頼する。

次に、講師が確定し園内研修の日時やテーマを決定した後、自園の保育中のこどもの遊びや生活の様子を動画に収める。

園内研修当日は、講師と職員が動画を視聴し、こどもの姿を中心に語り合い、研修の最後に講師から助言を受ける。



語り合いのポイント



- ・ 施設類型の異なる他園の保育者や小学校教諭との語り合いでは、自園だけでは気づきづらい視点を得られることがあるので、語り合いでは十分意見を出してもらう。
- ・ 外部講師を招く際には、語り合いの意義を事前によく理解してもらい、研修当日の保育者の様子や気づきを踏まえた助言を受けられるようにする。



(2) 三つの視点を確認するためのチェックリスト

① 「園内風土づくり」についての確認リスト

(ブルーゾーン)

区分	自園のことについて、以下の各項目を確認してみましょう。	そう思う	やや思う	そう思わない
職員 の コ ミ ュ ニ ケー シ ョ ン	① 気持ちよく挨拶をしている。			
	② 助け合って仕事をしている。			
	③ 保育中の気づきや感じたことを気さくに話している。			
	④ こどもにどのように育てほしいか話し合っている。			
園 内 の 雰 囲 気 に つ い て	⑤ 一人一人の職員が持っているこどもの見方を共有している。			
	⑥ こども理解を大切にしようとしている。			
	⑦ 多様なこどもの姿について理解を深めている。			
	⑧ こどもの思いや願いについて、想像し考えたことを共有している。			
	⑨ 保育がうまくいかなかった際に、ネガティブに捉えるだけでなく、「新たなこどもの一面を知ることができた。」とポジティブに捉えている。			
	⑩ 若手の保育者が経験豊富な先輩保育者の経験をヒントにして保育をしている。			
	⑪ 園長・主任が言うことが正解であるという雰囲気ではない。			
	⑫ 園長・主任が職員と一緒に子どもの姿を語り、保育について考え、チームで園内の保育をつくる雰囲気がある。			



② 「園内で保育を振り返る」についての確認リスト

(グリーンゾーン)

区分	自園のことについて、以下の各項目を確認してみましょう。	そう思う	やや思う	そう思わない
保育者自身の振り返り	① こどもの姿を踏まえ、こどもの育ちについて振り返っている。			
	② 保育中のこどもの姿を踏まえ、保育者の支援について振り返っている。			
	③ 保育中のこどもの姿を踏まえ、環境構成について振り返っている。			
	④ 保育について、計画、実践、反省・評価を循環している。			
職員間での振り返り	⑤ 保育中のこどもの姿を踏まえ、こどもの育ちについて語り合い、振り返っている。			
	⑥ 保育中のこどもの姿を踏まえ、保育者の支援について語り合い、振り返っている。			
	⑦ 保育中のこどもの姿を踏まえ、環境構成について語り合い、振り返っている。			
	⑧ 保育が計画通り進行したのかだけでなく、保育中のこどもの育ち、保育者の関わり、環境構成など、多面的に振り返っている。			
園全体での振り返り	⑨ 園内で互いの保育を参観し合う機会がある。			
	⑩ 園内で職員が互いの保育を参観し、こどもの姿を中心にして気づきや、感想を語り合う機会がある。			
	⑪ ⑩で語り合ったことが日々の保育にいかされている。			
	⑫ 保育中のこどもの姿から、幼稚園教育要領・保育所保育指針・幼保連携型認定こども園教育・保育要領を踏まえて保育を振り返り、次の保育の計画、実践、反省・評価の循環に繋げている。			



③ 「外部を交え保育を振り返る」についての確認リスト

(オレンジゾーン)

自園のことについて、以下の各項目について確認してみましょう。	そう思う	やや思う	そう思わない
① クラス単位で大学教授、専門家、乳幼児教育保育アドバイザー等を招き、自園での保育参観を踏まえ、助言を受けることや保育中のこどもの姿を中心に語り合う機会がある。			
② ①で語り合ったことを次の保育に生かしている。			
③ 近隣の小学校・幼稚園・保育園・認定こども園等の教諭や保育者が自園の保育を参観する機会がある。			
④ ③で参観したことを基に、保育中のこどもの姿を中心に語り合う機会がある。			
⑤ ④で語り合ったことを小学校と連携して幼保小接続の更なる促進に生かしている。			
⑥ 園単位で大学教授、専門家、乳幼児教育保育アドバイザー等を招き、自園での保育参観を踏まえ、保育中のこどもの姿を中心に語り合い、助言を受ける機会がある。			
⑦ ⑥で語り合い、助言を受けたことを自園の保育の改善や更なる質の向上にいかしている。			



(3) 実践事例

ここでは、乳幼児教育保育支援センターが発刊した「園内研修情報」から多様な園の園内研修の実践をご覧ください参考にすることができます。

現在、事例数はまだ少ないですが、今後も「園内研修情報」の発刊を積み重ね、参考にしていただける事例を増やしていく予定です。

詳細は、URL 又は二次元コードからご覧ください。

- ・ URL:<https://www.city.hiroshima.lg.jp/living/kosodate/1021253/1025966/1006049/1025973/1012973.html>
- ・ 二次元コード



5 参考